2014 大会プレイバック

＜マスターズ甲子園 2014・第 11 回大会＞

2013 ～ 2014 シリーズ開幕

第11回記念大会では、各地方予選大会で代表権を得た、郡山商業（福島代表）、所沢北（埼玉代表）、日体荏原（東京代表）、横浜商科大学（神奈川代表）、岐阜県選抜（岐阜県代表）、高岡商業（富山代表）、宇治山田（三重代表）、天王寺（大阪代表）、神戸村野工業（兵庫代表）、県立広島工業（広島代表）、小松島西（徳島代表）、今治西（愛媛代表）、小倉東（福岡代表）、東海大星翔（熊本代表）、宮崎南（宮崎代表）、鶴丸（鹿児島代表）の計16チームが出場しました。このうち、郡山商業、所沢北の2チームは、現役高校野球部も甲子園未出場であり、高校創設以来、悲願の甲子園初出場となりました。

これらの出場16チームに計743人の選手がベンチ登録、このうち高校時代での甲子園非出場者は620人でした。最年少は18歳、最高齢は、所沢北高校野球部でかつて顧問を務めていた榎本八朗氏(77)が出場しました。元プロ野球選手も参加し、奈良情報商業・桜井商業からは駒田徳広氏（元巨人・横浜）が昨年大会に続いて出場。また、天王寺高校からは神戸大学在学中からボランティアとして大会に関わってきた白木原舜氏が出場し、開会式では同じく天王寺高校OBの父・母とともに選手宣誓を務めました。

甲子園キャッチボールには、30都府県より計289ペアが登録。元高校硬式野球部関係者（部員、監督、部長、コーチ、マネージャー）であれば、チームメート同士や他校の元選手、兄弟等で参加できる「球友編」に31ペア、片方が元高校硬式野球部関係者であれば親子で出場できる「親子編」に167ペア、また、片方が元高校硬式野球部関係者であれば夫婦でキャッチボールできる「夫婦編」に37カップルが参加しました。そして、今回は、マスターズ甲子園を題材にした映画の公開決定を記念し、今大会限定で「特別編」が実施され、54ペアが参加しました。

さらに、大会二日目の甲子園キャッチボールプログラムには、重松清氏（大会応援団長）原作の映画「アゲイン　28年目の甲子園」のキャストである中井貴一氏、波瑠氏、柳葉敏郎氏、工藤阿須加氏がペアで出場しました。

高校野球選手権大会の初代学生司会者である山内佑利子氏が式典司会を担当。また、夏の高校野球選手権大会の開会式入場行進でプラカード係をかつて務めた市立西宮高校OGが、高校時代にプラカードを持てなかった同校のOGを誘い、開会式入場行進でのプラカード先導役を実現しました。その他、かつて甲子園に憧れた審判員、ボランティア・スタッフもそれぞれの想いで甲子園デビューを実現しました。